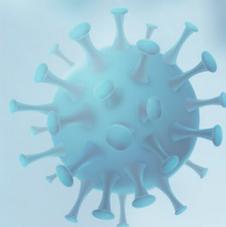


たとえ コロナ禍が終わっても



根本的な問題

新型コロナ問題が始まって、早くも2年が経過しました。これを書いている今も（2022年2月）オミクロン株による第6波が来ています。近所でのクラスター、有名芸能人の訃報など、死が身近なものだと感じずにはられません。この恐ろしいウイルスを前に、一日でも早い終息を願うばかりです。

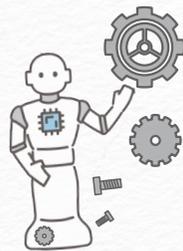
しかし、たとえコロナ禍が終わっても「いつかは死が訪れる」という根本的な問題は変わりません。他の病気や、突然の事故・災害で命を落とすこともありますし、そうでなくとも必ず終わりはやって来ます。

「私たちの齢は七十年。健やかであっても八十年。そのほとんどは労苦とわがわがです。瞬く間に時は過ぎ私たちは飛び去ります。」（詩篇90篇10節）

だからこそこの機会に、死に向き合って頂きたいのです。私たちはなぜ死ぬのでしょうか。人間の死後には、何が待っているのでしょうか。そもそも私たちは、どこから来て、何のために存在しているのでしょうか。その答えは、神様のみことばである「聖書」の中にはっきりと書かれています。

どこから来たのか

聖書の初めのページには「はじめに神が天と地を創造された。」（創世記1章1節）とあります。人間は決して偶然の産物などではなく、神様が目的をもってお造り下さったのです。たとえば皆さんは、精巧なロボットを見て「爆発の結果こうなった」とか、見事な絵を前に「たまたまこう見えるだけだ」とは考えないと思います。ならば、驚くべき仕組みをもった私たちの身体や、こんなにも美しい世界が偶然できることは、なおさらあり得ません。



そして神様は、私たちをご自身の愛の対象として特別に造られました。いのちを与えると共に、この世界を私たちの住みかとして備え、生きていくために必要な全てのものを下さっています。そして私たちは、それらを味わい、研究する時に、神様の知恵と力、愛と恵みを理解し、喜ぶことができます。こうして、私たちは神様と愛の交わりを持ち、神様を礼拝し、神様の導きの下で永遠に生きるものとして造られたのです。

どのように生きているのか

それにも関わらず、全ての人は「神様なんていない」と言ったり、自分の都合に合わせた偽物の神々を造ったりして、神様の主権を拒み、自分勝手に生きています。そして、人間の考えることはいつも悪に傾き、恥ずべきことを行い、不道德・暴力や争い・欺きやごまかし・陰口・傲慢・神を憎むなど、数えきれないほどの罪を犯しています。神様は皆さんが犯している罪を全てご存じです。また神様は正しいお方ですから、罪を決して見過ごされません。



「人の心は何よりもねじ曲がっている。

それは癒やしがたい。だれが、それを知り尽くすことができるだろうか。わたし、主が心を探り、心の奥を試し、それぞれその生き方により、行いの実にしたがって報いる。」

(エレミヤ書17章9～10節)

その行く先には

こうして私たちは神様の前に罪あるものとなりました。ですから、その報いとして死があるのです。さらにその後神様の前に立ち、さばきを受ける時が来ます。そして「それぞれその生き方により、行いの実にしたがって報いる」と語られている通り、永遠の火の池である地獄に投げ込まれ、犯してきた全ての罪のさばきを受けなければなりません。

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」

(ヘブル人への手紙9章27節)

今、この現実を目を向けてください。神様から離れる人生は間違いです。また、本来の生きる目的を失った人生は空しく、どれだけ罪を重ねても心が満たされることはありません。そして最後には必ずさばかれます。だからこそ、あなたにまず必要なことは、罪を認め神様に立ち返ることなのです。

救い主イエス・キリスト

憐れみ深い神様は、そんな私たちの罪を赦すため、救い主イエス様を与えてくださいました。そして神の御子イエス様が、あなたが受けるべきであった罪のさばきを十字架の上で受け、身代わりとなって死なれたのです。さらにイエス様は死後3日目によみがえられ、今も永遠に生きておられます。ですから私たちは、このお方を自分の救い主として信じ受け入れるだけで、全ての罪が赦され、死後天国で永遠に生きるものとされます。

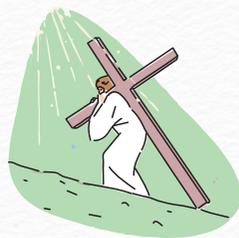
「神はそのひとり子を世に遣わし、

その方によって私たちに

いのちを得させてくださいました。

それによって神の愛が私たちに示されたのです。」

(ヨハネの手紙第一4章9節)



この救いを受けたクリスチャンにとって、死は恐怖ではなく、むしろ喜びです。これは気休めではなく確かな希望です。ぜひこれを読まれた皆さんも、イエス様を信じ、本当の喜びと平安を得る方となって下さい。